

第5回地域福祉部会（仮称） 摘録

日 時：平成 29 年 2 月 1 日 18:00～20:00

場 所：区役所第 1 会議室

出席委員：中里部会長、青柳副委員長、老門（聡）委員、大久保委員、葛西委員、
椿委員、滝本委員、中村委員（8 名）

欠席委員：川田委員長、小田委員、砂川委員（3 名）

資 料：次第

資料 1 委員名簿

資料 2 第 6 期審議スケジュール案

資料 3 全体会パワーポイント資料

資料 4 区民会議フォーラム企画（案）

その他 第 4 回全体会会議録（未定稿）

区民会議フォーラムチラシ（一般向け&中学生向け）

■ 議題

1 全体会（これまでの討議）の振り返り（公開）…資料 3

2 フォーラム開催後の進め方、取組方向性のイメージについて（公開）

■ 誰もが集えるたまり場的「みんなの食堂」

- ・ 貧困家庭の子どもだけでなく、誰でも来られる「子供食堂」があると良い。「今晩ごはんをつくるのが嫌になってしまった」親子が来ても良い。「みんなの食堂」（葛西）
- ・ 豊島区の「あさやけ子ども食堂」が有名。山田さんという方が自宅で子ども食堂を始めた。参加者に制限を設けず、お年寄りや親子なども歓迎している。（葛西）
- ・ サロンやカフェの取組が増えているが、その食事バージョンか。（中里）
- ・ 食事は人を「ほっ」とさせ、会話も進む。私も子育て時代に、お友達親子を呼んで一緒に焼きそばなどつくったのは本当に楽しい経験として残っている。（葛西）
- ・ 大人 300 円、子ども 100 円。子供はお手伝い等で無料になる例がある。（葛西）
- ・ 誰もが集まれる場の中で食事が出るイメージ。（青柳）
- ・ 人につくってもらった食事は本当においしい。親子で生き抜きしたり、和む場、話すきっかけ作りの場になればよい。（椿）
- ・ 地域の人の交流の場。企業等との連携にもつながると良い。（中里）
- ・ 区内に事例が無いが、高津区の子ども食堂に宮前区から通っている人もいる。（青柳）
- ・ 私の地域でもサロンの立ち上げが検討中だが、子どもに来てもらうにはカフェだけでなく、食事があれば良いと思う。（中里）

■ こども食堂の運営等

- ・ 突然来る人が多い場合などは、食材の準備などが大変ではないか。(中里)
- ・ 企業と食材調達等でタイアップできると良い。(葛西)
- ・ 私が関わる中原区の NPO では学習支援と食事を合わせて提供している。企業や行政からの支援も受けながら運営している。(大久保)

■区民会議の提案は立上げ支援やサポート？

- ・ 子ども食堂の実現に何が必要か。例えば場所や食材、調理者。どうすればそれらが集まるのか。または実現への障害をどう取り除くことができるのか。(大久保)
- ・ 例えば食材調達や人材育成などの面で、区内の団体が動きやすいようサポートしてはどうか。(大久保)
- ・ 区民会議でゼロから立ち上げるのは難しい。実現へのハードルは高い。(中里・葛西)
- ・ 下地をつくって、今後を引き継ぐのもよいのではないか。(青柳)
- ・ 調理師、衛生管理の資格者、設備なども必要になる。(青柳)
- ・ 企業に食材調達をお願いするときに、区民会議や区の間組として当たることでお願いしやすくなれば良い。(葛西)
- ・ セブンイレブンさんに「市との協定」も踏まえた働きかけができないか。(大久保)
- ・ 食材などを寄付でまかなっている子ども食堂の事例もある。(葛西)
- ・ 立ち上げまでをバックアップする案は良いと思う。(中里)

■場の候補

- ・ まず場所が必要。区役所の食堂が土曜日に借りられないか。(葛西)
- ・ 子育て応援団がパスポート宮前店の 2 階を使って、子どもを預けての母親のワインパーティー、交流会の企画を実施した。企業に声掛けをして実現した。(葛西)
- ・ お寺などでの実施事例もある。(葛西)
- ・ JA などの施設も借りられると良い。「アリーノ」でも、男の料理や味噌造りなどの教室が開催されている例がある。(青柳・葛西)
- ・ 頻度は毎週～月 1 回程度まで事例がある。無理のない範囲でやれば良い。(葛西)
- ・ 愛児園の新しくなった施設をぜひ使ってくださいと言われている。(中村)
- ・ 保育園にカフェを併設したら、非常に好評だったという話を聞いた。(青柳)
- ・ 土曜日使える厨房施設がどこにあるのか、まず調査してはどうか。
- ・ 町内会館は結構使われている。
- ・ 空き家を活用している事例もあると聞いた。
- ・ 知り合いの不動産業者に少し情報を聞いてみたい。(大久保)

■養成講座

- ・ ボランティア講座を提案し、講座の修了者で立ち上げるような形にもっていったらよいのではないか。(葛西・中里)
- ・ メディアなどで見て、「子ども食堂」が気になっている方はいると思う。興味がある人に講座に出ていただいて、活動につながればよい。(椿)

- ・子育て応援団もピープルデザインの須藤さんが講師だった講座の修了者が担い手になった。(葛西)
- ・地域や行政を巻き込んでいく方法として、大学教授を招いてフォーラムをやるの良いと聞いたことがある。企業などの協力を得る方法なども知りたい。(中里)
- ・豊島区内で子ども食堂や冒険遊び場を運営されている NPO 法人「豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク」理事長の栗林知絵子さんは良い講師だ。(葛西)
- ・子ども食堂のネットワーク組織ができていて、養成講座を開講している例もあるようだ。(コンサルタント)
- ・やりたいという気持ちをさらに盛り上げるような講座であってほしい。(葛西)
- ・継続していく中で、一緒にやる人が仲間になることが重要だ。子育ての講座では継続していく中で仲間意識ができてきた。(葛西)
- ・うまく PR すれば、手をあげてくれる人が現れると思う。(青柳)

■地域ニーズや情報の集め方

- ・地域のニーズの把握、検証も必要だ。「あった方が良い」くらいのニーズだとしたら、成功しない。宮前区は比較的裕福な家庭が多い地域だ。(コンサルタント)
- ・貧困の実態には地域差もある。中原区で聞いたのは、お金がないわけではなく、お母さんが遅くまで働いていて、朝食がつかれないという事例だ。(大久保)
- ・あるアンケートでは、「子どもが三食きちんと食べなくても良い」と思っている大人が半数以上という結果が出ていて、ビックリした。(葛西)
- ・宮前区は両親共働きや転勤族が多く、地域や周囲とのつながりができていない家庭が多い。貧困ではないかも知れないが、子ども達が夜中まで遊んでいたりと、問題を抱えている家庭は結構多いと感じている。(葛西)
- ・寺子屋やわくわくがない小学校の地域にはニーズがあると思う。(大久保)
- ・「貧困」という考え方は外した方が良い。誰もが集える、食事などを共にできる場として考える。コンビニにたむろしている子ども達は良く見かける。(青柳)
- ・豊島区の事例の山田さんは誰でも歓迎している。来たいという人は何か問題を抱えており、それをみんな受け入れる場という考え方。(葛西)
- ・先進事例視察などおこなってはどうか。(中里)
- ・社協に行けば、子ども食堂に興味がある人の情報が得られるのではないか。場所を提供できる人とのマッチングをどうできるか。どこに情報があるのか。(大久保)
- ・民政委員が地域を一番把握しているのではないか。(葛西)

3 フォーラム分科会の進め方 (公開) …資料 4

※以下は資料内容に加えて確認された事項

- ・受講認定書を出したい。中学生などは受験の際に、アピールしたり、受講日時が思い出せるものとなる。→事務局で確認の上、対応する。(葛西)
- ・司会はキャラバンメイト、もしくはかわさき病院の方などが務めてくださる。

- ・ 委員は参加者と一緒に受講する。
- ・ 人集めが重要。委員からの直接の声掛けを重視する。
- ・ 区民会議の名刺を用意する。
- ・ 宮前中学校では3年生を対象に認知症サポーター講座を2月20日・21日の二日間で実施する。

4 部会名称について（公開）

次回に決定する。次回までに案を持ち寄る。

5 今後の予定（公開）

- ・ 今後の会議予定の確認（来年度についても仮日程を設定）